



ら ぶ っ く
La・BOOK

3月号
No.105

春は子どもが主役

「こども読書月間」開催

市内全図書館で『春のこども読書月間』を4月6日（火）から5月9日（日）まで開催します。

期間中は「どうぞの本」コーナーを設置します。置いてある本が借りたい方は自分のおすすめ本を置いて下さい。皆さんのおすすめ本がリレー形式でつながります。またマスキングテープで飾り付けをし、自分だけの読書通帳を作る「読書通帳

デコレーション」や「スポーツ」をテーマにした児童書や絵本の展示を行います。

各館でのおはなし会等イベントもありますので、ぜひ足を運んでみて下さい。



4月の図書館イベント

ドキドキ・ワクワクおはなし会

中央	おはなしのとびら	7日・14日 ・21日・28日	毎週 水曜日	10:30~
豊科	ちいさいたんぼぼ おはなしたんぼぼ	16日(金)		11:00~ 16:30~
三郷	ポケットの会 おはなし会	10日(土) 27日(火)		10:30~ 11:00~
堀金	おはなしのへや おりがみのへや	20日(火) 28日(水)		10:30~ 16:30~
明科	おはなし会	24日(土)		11:00~

中央図書館上映会【入場無料】

題名	直売所名人が教える 野菜づくりのコツと裏ワザ 第4巻 「ねらいめ品目 得する栽培」編
日時	9日(金) 開場 18:00 上映 18:30~ 上映時間: 約79分
場所	穂高交流学習センター「みらい」 多目的交流ホール

豊科図書館

奮闘!?調べもの日記(レファレンス)

「うろたえばし」の名前の由来は?

国道147号線沿いの豊科成相広場の一角に「うろたえばし」と刻まれた石碑があります。うろたえる?確かに変わった名前です。その名前の由来について中学生から尋ねられました。

明治中頃から養蚕や製糸業の中心として栄えていた成相地区は、その後郡都としての役割を担うようになると更に産業の発展をとげました。それに伴って花柳界の繁栄も著しく、たくさんの料理屋や芸者置屋がおかれしました。どの店に行こうかうろろしたり、酔ってうろたえたり、支払いができずにうろたえるなど、さまざまな姿が見られ、いつからともなく「うろたえばし」と呼ばれるようになったそうです。

「はし」とつくのは、近くに用水路が流れていて橋が架かっていたことによります。今は橋はなくこの石碑が橋のあった場所を示しています。



<参考資料>

「豊科町誌 近現代編」/豊科町誌編纂会編
「安曇野史への招待」/高原正文 著
「ふるさと安曇野きのうきょうあした」
/安曇野市豊科郷土博物館編
「ふるさとウォッチングマップ」web版
/信州ふるさとづくり応援団編

私と図書館

わくわくするから

30代 男性

原稿の依頼を受け、改めて図書館について考えてみました。

問1 なんのために行くのか? 本を借りる(返す)ため

問2 なぜ行くのか? なんだかわくわくするから

図書館に向かう時、本を選んでる時、気になる本を見つけた時、本を読んでいる時、そしてまた図書館に向かう時。図書館に関係する場面を振り返ると、いつもワクワクしていると感じました。

ちなみに、冒頭の質問を小学3年生の息子にぶつけたところ、同じ答えが返ってきました。

親子であることの喜びと同時に、私のポキヤブラリーの貧困さにも驚きました。親として、大人として、もう少し文字が多くて厚めの本に手を出していかなくては、と気持ち新たにしています。しばらくの間、ワクワクは、お預けですね。



2月貸出ランキング

一般書

- 1 流浪の月／凧良ゆう
- 2 安曇野の郷科書／安曇野市教育委員会
- 3 昨日がなければ明日もない／宮部みゆき
- 4 少年と犬／馳星周
- 5 沈黙のパレード／東野圭吾
- 6 勿忘草の咲く町で／夏川草介
- 7 危険なビーナス／東野圭吾
- 8 希望の糸／東野圭吾
- 9 後宮の烏5／白川紺子
- 10 そして、パトンは渡された／瀬尾まいこ



児童書

- 1 しろくまちゃんのほっとけーき／わかやまけん
- 2 だるまさんの／かがくいひろし
- 3 バムとケロのもりのこや／島田ゆか
- 4 ふしぎ駄菓子屋銭天堂7／廣嶋玲子
- 5 うちにかえったガラゴ／島田ゆか
- 6 おつきさまこんばんは／林明子
- 7 からすのおかしやさん／かこさとし
- 8 くれよんのくろくん／なかやみわ
- 9 11ぴきのねことあほうどり／馬場のぼる
- 10 のりものおばけずかん／斉藤洋

AV資料

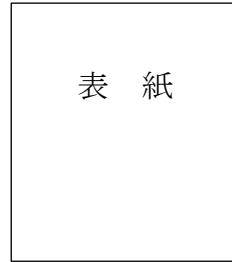
- 1 ゲゲゲの鬼太郎／本木克英
- 2 男はつらいよ 寅次郎と殿様／山田洋次
- 3 男はつらいよ 寅次郎物語／山田洋次



中央図書館から

本のソムリエ(司書)おすすめ本

一般書 『晴れ、時々くらげを呼ぶ』



表紙

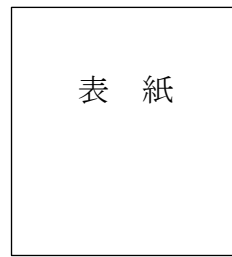
鯨井あめ/著 講談社
父が亡くなってから、無関心に日々を生活している僕。ある日、学校の屋上で「クラゲ乞い」をしている後輩、小崎と出会う。僕と同じく図書委員の彼女は、空からクラゲが降ると信じている変人だった。

無駄な行為と思いながら、それに付き合っていた僕だったが、ある夜、街にクラゲが降ってきた。

これは、僕と小崎と周囲の人々、それと本とクラゲの物語。

児童 『めくってびっくり短歌絵本2 サキサキ オノマトペの短歌』

穂村弘/編 高島那生/絵 岩波書店



表紙

オノマトペが使われている短歌が14首収録されています。右ページの短歌をまずはじっくり。それから左ページのしかけをめくって、穂村弘さんのやわらかな解説と高島那生さんの絵を見てまたじっくり。

短い言葉の中にたくさんの情景や音が詰まっています。短歌の世界の入り口にぴったりの本です！

2021年本屋大賞/ミネート作品

大賞発表は、4月14日(水)です。おたのしみに！

- 『滅びの前のシャングリラ』/凧良ゆう/中央公論新社
- 『推し、燃ゆ』/宇佐美りん/河出書房新社
- 『お探し物は図書室まで』/青山美智子/ポプラ社
- 『オルタネート』/加藤シゲアキ/新潮社
- 『自転しながら公転する』/山本文緒/新潮社
- 『八月の銀の雪』/伊与原新/新潮社
- 『この本を盗む者は』/深緑野分/KADOKAWA
- 『逆ソクラテス』/伊坂幸太郎/集英社
- 『52 ヘルツのクジラたち』/町田そのこ/中央公論新社
- 『犬がいた季節』/伊吹有喜/双葉社



2021年本屋大賞

編集・発行・お問い合わせ



中央図書館 ☎84-0111
豊科図書館 ☎71-4022
三郷図書館 ☎76-3078
堀金図書館 ☎72-3601
明科図書館 ☎62-1122

(図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます))

<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>

※編集後記※
穂高商業高等学校との連携事業で開催してきました、令和2年度の「りぶサポ」が、2月で終了しました。選書や棚作りが「とても楽しかった!」と、目を輝かせながら話してくれた、女子高生らの笑顔が印象に残りました。
みなさんもYACコーナーを是非ご覧ください。

